

【刊夕日五十二月八】



定額 一圓 二圓 三圓 四圓 五圓 六圓 七圓 八圓 九圓 十圓
休刊日 祝祭日 臨時増刊日
發行所 東京市神田區新大塚
電話 三六三〇

第二回

ブラジル通信

南米ブラジル在住

平町 岡部達雄

（三）

其日カセギの年も行かぬ小娘で三日間に亘るカンパルの大祭には百マイル（廿五圓也）も消費する者さいあるんだから金持連中のヤンキー振りは大いしたものだぞーだ、又奥地のフアゼンダー（コーヒーエ）の邊へ行くと又々意外のキパツな遊び方をやるとかだ、兎角伯國のカンパルは全く外國では見る事の出来得ない奇抜な遊び方をするとかに一寸伯國のノンキな生活は一目で知る事が出来得るとか。カンパルに付いては私も始めてなので一寸物珍らしく思つた。

伯國に於ける我等同胞の天長節

母國に於ての一般農民の天長節は伯國に於ける我々農民の天長節とは非常の差異

があるかと思はれる、伯國に於ける我同胞は一般に仕事を休んで盛大に其日を祝ふのである。今こゝに私の部落の天長節の有様を御使りに致しませう。

四月廿五日の夕方日本人會長より「来る廿九日は我等の最も光榮ある母國の天長節に付き午前拾時を期し部落の中央にある大いなる草原、紺野氏のバツシットに於て式辭を舉行致し度付尙青年會の發會式も之有種々の運動も之有御家内お揃にて午前九時迄に集合下され度候」と云ふ通知が来た最も青年會にては天長節の祝日を記念として、發會式を擧げ陸上競技等を催し盛大に祝ふとの協議が一決して居つたのであつた、青年達は前日に種々の用意を整ひ當日の來るを待つて居た、愈々當日は來た家毎には白地に赤のアザヤカなる丸の旗の旗と、伯國の國旗とを打つ違ひに立てられてそよ吹く風にひらひらと幸福な安らかな情著があられて居る、オベントウを持つて家々揃つて決定さ

れたバツシットへ行くと大空高く日章旗と伯國旗とがひらひらとなびいて居た、未だ半數だに集つては居らなかつたが小學校の先生は生徒一同を引き連れて來て居つた、擧式に迫つた頃には略ましの同胞が集合された、二三の家長連が見えなかつたけれども時間が來たので一同母國の方角に向つて整列し會長の祝辭を始めとして次に君が代次ぎに大日本帝國天皇陛下萬歲を三唱終りにブラジルボーバー（ブラジル萬歲）を三唱を以つて式は終りとした

常磐文藝

日光の初旅

うつつみね

○今一度詣づる事の誓もつ
東照宮の二人連見て
○日の暮る、陽明門を畫の間に見えず我の旅は忙し
○坂道にのどかわきては一掬の水友もほめつ、我もほめつ、
○其の昔世をはかなみし人ありと聞き知る華嚴今日

は見て知る
○今一度死して生き得る事
死なまし
あらば今日の華嚴に我も

寶鐸院新盆に付ては時節柄提灯其他供物御遠慮申上候

平田町 森本盛一

亡父重儀新盆に相當り候へ共緊縮の折柄供養提灯並に供養料其他一切の御贈與を甚だ勝手釜敷候へ共絶對御辭退申上候間不惡御承知被下度願上候

平町 鍛冶町 酒井 一 郎

後見者 酒井 秀 治 郎

亡父塚本喜八儀 新盆に相當り候處故人の遺志により提灯其他供物等一切御辭退申上度乍失禮以紙上謹告仕り候也

平町 新田町 塚本 保

天瑞院新盆に相當仕候へ共時節柄提灯其他の供物一切御遠慮申上度

く何卒惡からず御承知願上候

平町 田町

松月堂 金子重次

謹啓照清院新盆に相當り候へ共故人の遺志に依り提灯供物等乍失禮一切御辭退申上候 敬具

昭和五年舊七月

松本 龜 吉

實用的冷庫 特價提供

—(便輕價安)—

◆冷庫庫の寸法	
小型	大型
開口一尺二寸 開口一尺五寸	開口一尺二寸 開口一尺五寸
奥行一尺	奥行一尺二寸
高さ九寸	高さ一尺一寸
(定價五圓半錢) (定價七圓半錢)	

- 一、安價にして輕便且つ堅牢大衆向きであり且に臺所の寶器であります。
- 二、絶緣材料として優秀なる山形ルーフィングを使用してありますから水の消費量極めて僅少で非常に經濟的であります。
- 三、小型冷庫庫個の重量僅かに一貫五百匁位ですから野外携行用として又旅行用として飲食物其他殊に生物の保存運搬に頗る便利であります。
- 四、病院又は各家庭に於ける病室用として至極輕便にして重寶であります。
- 五、嚴寒の節には保温器として用ひられ御飯其他日常生活物の温かみを長時間保つ事が出来ます。

釜屋商店器物部

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

- 産人科 院長 木村寅次郎
- 女醫 木村コウ
- 内臓外科 醫學士 松永憲一
- 整形外科 醫學士 萩原駿二
- 藥局 東京藥學士 萩原駿二

合意と無理の情死一ツ

今曉小名濱錦盛館

客と藝妓が剃刀で

喉を搔斬り血の海地獄

男は其上に服毒

今曉午前三時頃石城郡小名濱町上町旅館兼料理店錦盛館佐藤マサ方に於て夫婦氣取りの

投宿客

河町八重田銀行員板馬武(三)及び同町藝妓屋相樂清作方藝妓駒若等今泉イシ(七)の兩名が互ひに剃刀を以つて喉を搔斬り血沙に染つて七轉八倒の大騒ぎに同旅館の

女中は

氣絶せん計りに打ち驚き早速醫師を招いて應急手当を受けしめたが室中一面血の海の如く慘

情死を

圖つた原因は明らかでないが男は銀行の金を携帶し豫て馴染を兼ねた前記駒若と遠出と洒落込み殆んど路金を費消し盡し明るい世間で添はれぬ身を果敢んだ結果であらうと見られ半署は目下白河署に身元照會中である

花月の女給目掛けて

ダイナマイト爆發

仲裁の主人が傷さ

己れも無慘の即死

去る廿四日深更一時半頃平町三丁目五九カフエー花月で女給の内郷村高坂高倉千代(二)の腕を促へた同村生れ湯本町上町五八居住善太郎二男鹿又善勝(三)がダイナマイトを持つて無理心中をなさんとしてゐるので主

人の久田好雄が大いに驚き早速 二人の間 に割つて入つたが爲め男はこれまでと思つてか手にしてゐたダイナマイトを女めがけて投げつけた瞬間轟然たる音響を發して爆發し主人久田の

五日後一時から驛前事務所にて總會を開き農事試験分場稲田技師の講演がある

平年作より

一三割増収

稲作の豫想

平地方の稲作出穂は二百十日までに大体出揃ふものと都農會では観測して居るが作柄上乘で今のところ平年作より三割以上四割近く増収を見越されこれに依つて農家の懐中具合も餘程緩和されるであらうと見られて居る

大音響と

共に爆發

して男は兩手首下腹部等部等跡方無きまでに粉砕されバラバラになつて無慘の即死を遂げた、急報に接して平署から阿部部長其他警官數名急行し取調べた所によると前記善勝は昭和二年三月頃から千代と

内縁關係

を結び

崎村の元三井炭礦坑夫となつて働いてゐたが性來不良で素行治まらず二人の間に生れた子供も病死しその上炭礦が休山となつて解雇された爲め双方合意の上去年十九日夫婦別れをなし直ちに千代は前借卅圓で前記花月に女給となつて住み込み

多くの男

と接して

るので嫉妬と未練にムラ々となつた善勝は同夜花月に至りウヰスキー一杯を呑み元氣をつけた上千代を勝手口にさそひ出して心中を迫つたがはねつけられたので憤激し前記の兇行を演ずるに至つたものである

赤井果樹講演

石城郡赤井村果樹組合にては廿

既記の如く一昨日開會、結局町長指名にて左記十一名の委員附託となり本日より委員會に移り審議中であるが相當減額修正を見るに至るであらうと

平町の

二七紙幣犯

原町署に捕る

平町材木町煙草商森ステ方にて十圓、新川町の菓子屋で五圓の各贋札を使つた犯人は平署にて嚴探中の處此程原町警察署に逮捕された秋田縣生れ畫工川田善次郎(三)と巧みに毛筆にて紙幣を描き廿餘枚に亘つて使用して居たものである

梨販賣協議

臨時組合總會

石城郡果樹組合にては廿八日午後一時から團體事務所樓上に於て臨時總會を開き梨箱の共同購入、梨の共同販賣、即賣品評會の開議等に關して協議を遂げるが當日は鐵道當局及び運送業者の出席を乞ひ輸送上に關しても協議を遂げると

平町人事

出生

△材木町三九 木本義正氏二女愛子 △堂の前一六 緒方誠吉氏長男一夫 △死亡 △極道小路四三 石和田キチ(七三)

徵書を配布

最高三名税額

平町では縣稅家屋稅並に同附加稅の徵稅合符を廿三日千六百餘名の納稅義務者に配布したが最高納稅者は諸橋守次氏の三百八十圓三錢加藤丈夫氏の三百廿八圓五十八錢、百澤易興氏の二百六十一圓である

粉砕機破壊

職工等の心配

石城郡四倉町岩城セメント四倉工場の原料粉砕機用六百五十馬力のモーターが去る十九日運轉中突如燒失したので約三萬圓の缺損を招くに至り此の理合せに従業

骨董を愛玩

尙古會由來

古色蒼然たる程價値の多い骨董愛玩の人々が新らしいものばやりの世間を他所に盛んに天狗の鼻競べ、是れも又趣味界から見免す事の出来ぬ好材料だ。此の稿も古い事から始まる——といふのは大須賀先生だが

如何

に天狗でも

屈だ、警中の廿五週年記念に前にも後にもたつた一遍展覽會の様なものを開いて參觀者何れも垂涎萬丈盛んに所有欲を煽動して欲しからすものがあつたので忽ち

秘藏

してゐるし立

派なものもある、佐々木健一郎、中野康平兩氏の刀劍

「星鳥會」の名が生れた、最近に至つてそれまで一部の骨董屋に横取りされた形になつてゐた尙古會の名が恢復して酒井國三郎氏が

會長

さんに收まつ

て發掘物や刀劍をためつすがめつしてゐる、長瀬廉平坂本隆藏、坂田藤助の諸氏は幹事として書畫古銅陶器佛像刀鏢等を愛玩してゐる書畫では山崎興三郎氏が押し付けられる關係から最も多く

諸氏

いづれも似た

り寄つたりの鼻をヒョクつかせてゐるさうだ、これが尙古會關係の人々であるがこゝの他家舊家と言はれる處では少くとも二つ三つの自慢品を見せられるが記者は遺憾ながら鑑定眼がないからたゞ感心してタヂ／＼と退く

乙字

ではなくその

父君である、その人が明治

界味趣平

秘藏の虫干しで

天狗の鼻くらべ

骨董を愛玩

尙古會由來

古色蒼然たる程價値の多い骨董愛玩の人々が新らしいものばやりの世間を他所に盛んに天狗の鼻競べ、是れも又趣味界から見免す事の出来ぬ好材料だ。此の稿も古い事から始まる——といふのは大須賀先生だが

如何

に天狗でも

屈だ、警中の廿五週年記念に前にも後にもたつた一遍展覽會の様なものを開いて參觀者何れも垂涎萬丈盛んに所有欲を煽動して欲しからすものがあつたので忽ち

秘藏

してゐるし立

派なものもある、佐々木健一郎、中野康平兩氏の刀劍

覽五斤入ノ大及バトマンズ一ツ一ツ 御用命通り一頁も

◇チラシは百枚に付十五錢



明日の天気 報豫氣天 今晩も明日も北東の風朝晩は曇り日中は晴れ幾分涼しくなるでせう

- △前六・二〇 夏期獨逸語講座(第卅二)小田切良太郎
- △前九・一〇 料理献立 一、鳥の吉野うち(汁物) 二、たゞきかつを 千葉太吉發表 日用品値段
- △前一〇・三〇 家庭講座 「肉のい」
- △前一一・三〇 家庭講座 「琴の手ほどきと童曲」二宮城道雄
- △後〇・〇五 連續講談「俠客小櫻仙太郎」第二席 田邊南龍
- △後五・〇〇 趣味講座「速記術の話」田鎖一
- △後六・〇〇 子供の時間 お話「地下鐵道」愛甲勇吉
- △後七・二五 趣味講座「歐洲映畫界の話」衣笠貞之助
- △後八・〇〇 浪花節 未定 木村友忠
- △後八・三〇 映畫物語「祐天吉松」月岡秀粹
- △後九・〇〇 室内樂「ヴァイオリン、ピアノ、二重奏」(ヴァイオリン)モキレフスキー(ピアノ)レオシロ
- △後九・四〇 時報 氣象通報 番組豫告 生蘭相場

趣味講座

歐洲映畫界の話

アメリカ映畫程ではなくてもこの頃では歐洲映畫についても日本では一通りの事情は知られてゐるのでそれ以上の専門的なことになると一二年の短い間でも多くの國を廻つたのでは仲々實際のことにはわからないわけです。私が一番長く滞在したのは伯林で丁度その頃に今までの歐洲映畫にモット明るいアメリカニズムを受け入れやうとする傾向とトッキーの問題が起りかけたので色々な便宜がありました。それにドイツでは時々ロシアの映畫も見られるので教へられるところがあつたわけ

技術上の根本問題

について驚くほど研究して居り充分金をかけてやるだけのことはやつてゐます。しかし結局は何と云つても歐洲映畫の前途には、いろいろ難關が横つてゐるやうです、ドイツでも、いろいろ苦心してゐるのはわざ／＼アメリカからスタンバークを引ばつて來たりしてゐるのもわかりませう、とにかく私は伯林で二三の撮影所にも出入りしましたメトロポリスのフリッツラングや例の絶頂映畫のハンズリセターなども知り合ひになつたのでドイツの映畫界のことは多少見て來たと云ひるわけです、若し時間があれば私のもつて行つた十字路のあちらでの評判今後の日本映畫の輸出等々についてお話したいと思ひます

衣笠貞之助

す、ドイツ映畫とくらべて見ますとロシア映畫は道をはいたり道路を作つたりするのと全く様々國家の仕事になつてゐて充分専門教育ある人々が仕事をしてゐる點がはつきり違ふのでせう。今流行になつてゐるモンタージュなど云ふ方法もこうして生れたものだと思います。歐洲ではどの國でも國産映畫の製作に力を入れてアメリカ映畫に對抗しやうとする傾向がよく見られます、トッキーについて云つてもドイツは云ふまでもなくフランスでもイギリスでも

家庭料理二つ

千葉太吉發表
一、鳥の吉野うち
▽材料及び分量(五人前)
鳥肉卅匁(白身の魚にて可) 茗荷の子五個、柚子少々、片栗粉少々、煮出汁三合、醤油鹽各少々
▽調理法 鳥肉は適宜に切り鹽をふりかけ片栗粉を庖丁の柄にて叩きながらまぶし沸騰せし湯に鹽を少し入れこれに入れてさつと茹でます、後水にとり水氣を切つて置きます、茗荷の子はたて二つ割りにしこれもざ

つと茹でますこれ等を吸物の椀に盛り、熱い清汁を注ぎ進めます
▽清汁の拵へ方 煮出汁は充分湯を沸騰させ鰹節を入れ、直ちに汁を別鍋に注ぎ又火にかけ煮立ちし時鹽、醤油にて好みに味を付けすぐ下します
二、たゞき鯉
▽材料及び分量(五人前)
かつを一筋、鹽、酢、醬油各少々卵の黄味二個分
▽調理法 魚は一筋の儘網渡しにかけ強火にて中に火の通らぬ様魚の両面を焼きます、焼けたら粗の上にだし鹽をふりかけ庖丁の平又は手にて鹽の浸む迄軽くたたきます、次に酢醬油を適宜の味に造り五分間位肉を漬け取り出し布巾にてしめ氣を除き刺身の巾で二倍位の厚さに切り適宜に盛り茹卵の黄味二個分を裏漉しにかけ魚にふりかけて供します

時計の生命は修理にあり

金光堂時計店

迅速親切丁寧をモットーとする
御用命を願います
平町 電話七三六
八月十日より 電話一九五番に變更



耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院



景印付賣出

一、景品 東京日本橋 白木屋 化粧石輪
一、期間 昭和五年十月卅一日迄
一、一升瓶詰一本 一、四〇〇 毎に一個宛進呈
○空瓶は一本二十錢に御引受け致します

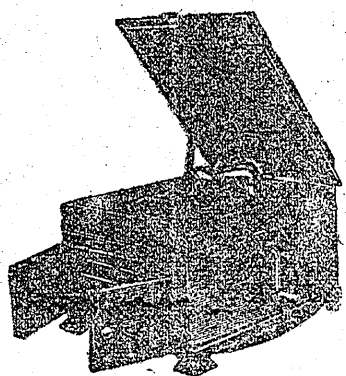
市販販賣店

平町新川町 谷川商店
同長橋町橋際 小野商店

發賣元 平町田町 永山酒店 電話二〇七番

蓄音器の大市

提供價元々愈々此際限り百壹圓
自七月廿五日 至八月廿五日
毎土曜日店頭にてレコードコンサート開催致します



警城銀行隣り 天地堂
音譜在庫品常に豊富

外科内臓外科 耳鼻咽喉科
福島縣浪江町 山村醫院 電話一四四番

◆謝 恩 十週年記念 思切つた 値下斷行

皆様の御引立により開業十週年を迎へました、御厚意に酬ゆる爲と諸物價の下落に伴ふ値下を決定いたしました、尙ほ營業方法を改めて女給を廢しボーイを以て御客様に上品な接待を致させます。

來る廿一日より一週間

祝記念の爲として

◇料理一品に付五錢ツツを割引致します

カフエー夕ヒラ食堂

平町驛前(電話六二〇番)

夏服

◇輕裝上衣
黒セル4・20ヨリ
カシミヤ 10・00ヨリ
◇白直衣 1・60ヨリ
◇白づぼん 60ヨリ

輕快で瀟洒な夏服の季節となりました。スマートな今年度の新製品が豊富に取揃ひました。

平二かかや洋服店 電話203

節約費消

本品質 家庭染料

みやこ染

平町一丁目

特約店

大平屋薬店

電六四二番

最新刊 動物の應用の價値

著者 木村和誠氏 理學博士 大島正滿氏
泉・丹氏 理學博士 尾秀實氏
伊之吉氏 農學博士 内田清之助氏
澤毅一氏 綜合編纂者 大島正滿氏

應用動物圖鑑

動物の應用の價値は、我々の生活に與へるもの多きに過ぎぬ。内容見本で知らぬ動物の應用の價値を知ることは、我々の生活に與へるもの多きに過ぎぬ。内容見本で知らぬ動物の應用の價値を知ることは、我々の生活に與へるもの多きに過ぎぬ。

は無限である。本書によつて逸早く無限の寶庫を開かれよ!

附 録 價目表
全書冊四六八二〇頁
口繪一〇葉挿圖六五〇幅
背革裝幀 價六圓七角
特價 價五圓

東京市橋區座四丁目
北隆館 株式會社
電話 一七八八
一七八九
一七九五
一七九六

東洋趣味の粹として近代日本を壓倒して居る麻雀の俱樂部が平町に生れました支那の本場を偲ばしめる高雅な設備一切は繁ひ三日早朝より開店し皆様の御出を御待ちして居ります。麻雀を知らなはいは現代人の大なるはじであると云はれて居る折柄です。

是非御遊びに御出でくださる様御願ひいたします。初めての方や御婦人方には丁寧にお教えいたします。

平驛前(實川醫院裏)
平麻雀俱樂部



喫茶部新設

新築落成

双葉修齊女學校

長塚村電話一八番

各種 修理
建築設計 大田藥局
電話四〇〇番

セメント 壁用材料
コルタール ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社

代理店 西村屋藥舖

平町二丁目(電三)

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番